2016年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL02716B16）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベトナム	D271 陶磁器		個別	新規	2年	・2017/1 ・2017/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

ハノイ市人民委員会

2）配属機関名（日本語）

キムラン村人民委員会

3）任地（ ハノイ市キムラン村 ） JICA事務所の所在地（ ハノイ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ バスで 約 1.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

人口約6000人のキムラン村は、隣接する陶磁器生産で世界的に有名なバチャン村同様、窯業を中心産業としている村である。1950年代より石膏型を使用した陶磁器生産技術が徐々に広まり、窯業に従事する村民が増え、2009年には伝統窯業村と認定されるに至った。さらに、2014年にはキムラン村人民委員会の元に、窯業を同村の主力産業として拡大・発展させることを目的に陶芸協会が設立された。現在の会員数は約150名である。2015年6～10月には陶磁器短期SVが派遣されていた。

【要請概要】

1）要請理由・背景

キムラン村で2001年から2003年の間に行われた、ベトナムと日本の考古学チームによる発掘調査において、8世紀から17世紀にかけて同地で作陶された貴重な陶磁器が数多く発掘された。このことをきっかけに、人民委員会はもともと戸別に生産・販売してきた陶磁器を、商業ベースで取引できる同村の特産品として振興を目指してきた。その中で陶芸協会の設立に至ったが、従来製品の改良・改善や新技術の導入については積極的に行われていない。そのため、短期SVが派遣され、協会メンバー20～30名に対し、毎週の研修会にて日本の一連の作陶工程について紹介したほか、戸別巡回にて技術指導を行った。2017年度、同配属先にはマーケティングのJVが派遣予定である。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の一員として、以下の活動を行う。
1. キムラン村やベトナムの窯業の現状を把握する。
2. 型成形による陶磁器生産の特色を生かしながら、キムラン村窯業振興に必要な作陶技術の指導を行う。
3. 導入可能な日本の作陶技術を紹介し、現製品の改良や新製品の開発について協会員へ提案する。
4. 陶芸協会の機材や工房について、管理方法や改善提案を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

・土は近隣の省より取り寄せ、釉薬は村の専門店で国内外の物が取り扱われている
・陶芸協会工房、電動ろくろ(1台)、ガス窯(1台、1300℃、約 80 cm×60 cm×80 cm)

4）配属先同僚及び活動対象者

・人民委員会長(男性/40代)、副委員長(男性/40代)
・陶芸協会会長(男性/40代/陶芸歴30年/陶磁器製作工場長)、副会長
・協会メンバー(主に約15名/30-50代/陶芸歴10-30年)

※ろくろ経験はほぼなく、協会メンバー中約7名が短期SVより3ヶ月間指導をうけた後、自主的に勉強している

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
ベトナム語	ベトナム語	

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）5年以上　備考：陶芸技術を紹介、指導するため

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（10～35℃位）　[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（安定）

【特記事項】

陶芸協会員所有の窯:石炭窯70%程度、大規模ガス窯30%未満、電気窯1%程度
(各温度:1180-1250度、1050-1180度、650-900度)

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.